

財団法人アジア国際交流奨学財団
2011年度 川口静記念奨学生-アジア各国への留学生（日本人用）
学内募集要項

財団法人アジア国際交流奨学財団による、アジア各国の大学へ正規の学部生または大学院生として留学を希望する者への奨学金制度です。

申請希望者は、別紙「2011年度川口静記念奨学生募集要項（日本人用）」（以下、「別紙」）及び本学内募集要項を確認のうえ、必要書類を揃え、所属部局を通して申請してください。

記

1. 応募資格

別紙「Ⅰ. 応募資格」を全て満たし、且つ以下の全ての条件を満たす者。

- ・ 申請時及び留学期間を通じ、本学学部または大学院正規課程に在籍する者。
- ・ 申請時及び留学期間の所属部局にて留学することの了承を得ている者。

2. 推薦人数

若干名。

3. 提出物

1) 別紙「Ⅳ. 応募方法」の7点

〈留意事項〉

「学業成績書」については、大学入学後全学期分（学部含む）を提出すること。

「推薦書」については、指導教授からのものを提出すること。

2) 語学能力を証明するもの（留学先での使用言語、及びある場合は英語）

4. 提出先

所属部局の担当係まで提出すること。

※アジア国際交流奨学財団への直接申請は不可。

5. 提出期限

所属部局によって異なる。

※別紙「Ⅴ. 応募受付期間」記載の締切期日（平成22年12月24日）とは異なるので注意すること。

6. 学内選考

各部局から推薦された後、全学国際委員会での審査を経て、アジア国際交流奨学財団に推薦する。

7. その他

- 留学先大学において授業科目を履修し、単位を取得した場合、その単位が本学での単位として認定されるかどうか等については、所属研究科等担当窓口にて事前に相談すること。
- 派遣決定の際には、各自海外旅行傷害保険に加入すること。一般的な留学のための情報や危機管理等については、次の本学「海外留学の案内」のウェブサイトを参照すること。
(<http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/index.html>)
- 派遣終了後、本学国際交流課まで参加報告書（様式任意）を提出すること。この報告書は本学における本プログラムの活動を示すものとして、学内及び学外への広報等に使用する。

8. 学内担当

本部国際部国際交流課(intex-ut@m1.adm.u-tokyo.ac.jp)あるいは所属部局の担当係